



## 概要

1999年「アジア太平洋博覧会—よかとぴア」の開催を契機に、翌1990年から毎月9月を「アジアマンス」とし、福岡市民のアジアに対する理解を深め、友好交流関係を一層進めていくため、各界・各層の協力のもとに、アジアの文化、芸術、学術を中心とした国際的な幅広いイベントを集中的に実施している。



アジア各国と地理的、歴史的にも深いつながりをもつ福岡で、アジアマンスが開催されて12年になる。毎年、様々なイベントが組まれ、ごく自然にアジアを体感している人々がこのまちには大勢いる。実はこのごく自然というところがミソで、体感した出来事が、映画であったりアーティストであったり音楽であったり食であったり舞踊であったり学術研究であったりと、ジャンルは多岐にわたっているが、それぞれが関心のある分野で、アジア文化と出会い、そして確実に浸透する何かが生まれている。そういえば、他都市のアジアイベントに出会うと、福岡のアジア交流が濃密なことにあらためて気づかされることが少なくない。

(審査委員 今村 洋子)

FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD 2001 FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD 2001

JR Kashijingu Station Flower-Planting Movement

## JR香椎神宮駅花とのふれあい活動

主催者:たんぽぽの会 / 関係者:九州旅客鉄道(株)



## 概要

花の好きな仲間が集まって4年前にたんぽぽの会を発足。身近な公共施設に花を飾ろうと、JR香椎神宮駅のホームにプランターを置き、花づくりと毎日の手入れを続けている。また、正月、七夕、クリスマスなどには季節感のある飾り付けを行うなど、花づくりにとどまらず、駅利用者との心のふれあいを演出している。

各地で清掃・美化活動が活発化し環境意識が高まっている。本件の推薦理由では活動の持続性・自発性が推挙された。通常なら負担に思える毎日(夏場は1日2回)の水やりは、会員にとつては成長の楽しみであり、活動を見守る人々と楽しみを共有する様子が感じられる。また、季節ごとの飾りや植物の名札付けなど、花を媒介とした静かなコミュニケーションの活動も

(審査委員 水崎 明子)

特筆したい不特定の人々が短時間に行き交う場所であるからこそ、駅には清潔感や安心感が求められている。乗降数の多寡により空間事情は異なるが、JR駅は本件のような市民参加の場になりうる。清潔に保たれた公共空間は市民の財産でもあり、地域発展の核になる可能性を持っている。

